

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	木造構法小委員会	主 査 名：榑藤 智之 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (設計計画・構法計画運営委員会)	委員長名：小野田 泰明 主 査 名：岸本 達也
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>木造建築構法は設計、計画、歴史、構造、環境など多様な分野との関係の上に成り立つ。本小委員会では主な対象を木造民家と近年の木造建築（在来木造、木造新構法）に定めて、近年の研究者を他分野からなる研究者で共有し、今後の方向性を見いだすことを目指す。また、関連する書籍や博士論文の発表があった場合は、これに基づく研究会を実施し、多角的な議論を行う。</p> <p>2020 年度：(1) 海外の木質構法の普及状況・その背景、(2) 戦後の木質構法の変遷、(3) 民家・小屋および近代木造建築を対象とした近年の構法研究、の 3 点について情報収集や研究会を実施する。</p> <p>2021 年度：上記 (1) ～ (3) について、研究集会等を行い、対外的に情報を発信する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：榑藤智之（東京大学） 幹事：山畑信博（東北芸術工科大学）、金子晋也（札幌市立大学） 委員：青島啓太（芝浦工業大学）、大橋好光（東京都市大学）、釜床美也子（香川大学）、金善旭（八戸高専）、後藤治（工学院大学）、小見山陽介（京都大学）、杉本健一（森林総合研究所）、樋口貴彦（東洋大学）、堀江亨（日本大学）、松本直之（東京大学）、源愛日児（武蔵野美術大学）、渡邊史郎（国土技術政策総合研究所）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 新任委員3名の研究紹介を主とする研究会の実施により、近年の新構法開発の布置や伝統木造・民家構法研究における論点整理を行う(研究会は当成果報告提出以降実施予定)。 2. 大会代替の研究発表会を構法系3小委員会と実施し、構法系全体の構法史WGも複数回開催するなど特に構法史的内容について、他委員会とも共同で研究や成果の共有を行った。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>コロナ禍の影響もあり、2020年度前半は活動を行えなかった。オンラインの研究会等も活用し、新任委員の協力も得ながら2021年度は積極的な活動を実施したい。</p>